兵庫県立農業高等学校（定時制）　平成24年度学校評価報告書

1 学校教育目標

校訓「ゆたかな情操、たゆまぬ研鑽」の精神を基調に21世紀の日本の担い手としての自覚と、豊かな創造性及び深い人間愛の精神を持ち、自らが主体的に判断し、行動できるこころ豊かな人材育成をめざす。

2 重点目標

① 自主性・社会性を育て、基本的生活習慣を確立する。
② お互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切にする豊かな情操や徳性を養う。
③ 基礎・基本の確実な定着を図り、個を生かし、個をのばす教育を充実させる。

3 学校自己評価結果（A 優れている　B 良い　C やや改善　D 要改善）

分野	評価項目・取組内容	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
1 開かれた学校づくり	・家庭や地域への情報発信 ・学校評議員制度を活用した学校運営の推進 ・地域貢献事業のさらなる充実 ・保護者、地域との連携、協力体制の強化	A	・定時制だよりやJR東加古川駅に横断幕を掲示して、県農定時制の活躍（部活動、神戸マラソンボランティア活動、生活体験発表大会）を保護者や地域の方々へ発信した。 ・ホームページの更新の回数を増やし、中学校訪問を4月、10月、1月と3回実施するなど、広報活動をさらに充実させることができた。 ・県農フェスティバル、歳末地域防災活動、餅つき大会で地域住民との交流を行った。特に餅つき大会は神戸聴覚特別支援学校との交流も行い、地域住民との交流も昨年を大きく上回る地域住民に参加していただいた。
2 生徒指導	・生徒指導方針の確認と指導体制の推進 ・生徒の内面理解を図る指導の工夫 ・規律ある学校生活の確立 ・基本的生活習慣の確立	B	・家庭との密接な連携や、学年・生徒指導部・保健部間で生徒情報の共有を図ることが出来た。 ・集会や授業中におけるマナーは年々良くなっている。 ・校門等でのあいさつができる生徒が増えてきているが、さらに粘り強く充実させていきたい。 ・ボランティアや講演会等の後片付けに進んで参加する生徒が増えた。
3 教育課程	・3修制システムの確立 ・教務規定の見直し ・教育課程の見直し ・授業研究の推進 ・基礎学力の向上	A	・3修制において、「体験活動」や「奉仕活動」に係る生徒の報告書を充実させることにより、単位認定基準の明確化ができた。 ・新教育課程や時代の変化に対応した教務規定への改訂に向けて、見直しに着手することができた。 ・次年度以降の教育課程編成について、全職員で協議を重ね、合意を得ることができた。 ・様々な授業で、基礎学力の向上と、ことばの力の充実を意識した取り組みがなされた。
4 進路指導	・進路指導体制の充実 ・進路先開拓、支援 ・進路目標の実現	B	・ボランティア活動とアルバイトを含む就労体験を両軸に、社会性の育成に努めることができた。 ・目先の問題解決に終始し、目標の設定と努力を奨励する雰囲気を作るに至らなかった。 ・経済的な問題が多少あったが、多様な進路実現をサポートすることができた。 ・コミュニケーションに難のある生徒や、障害を持った生徒についての進路支援、特に就職支援に努めたが、まだまだ課題が多い。
5 特色ある学校づくり	・生活体験発表会への取り組みの充実 ・ボランティア活動を通しての地域貢献 ・部活動の活性化 ・個に応じた指導	B	・生活体験発表に本年度も学校として力を入れ、代表者は県大会でよい成績を残すことができた。全体的なレベルアップと地域へのアピールをさらに進める必要がある。 ・第2回神戸マラソンボランティアに本年度より全校生で参加した。来年度以降も継続する必要がある。 ・「ことばの力」充実事業を活用し、外部講師による「絵本の読み聞かせ」特別授業を開講し、県農フェスティバルで発表の場を持つことができた。
6 危機管理体制の整備	・学校危機管理マニュアルの検証 ・安全の確保 ・保健指導と健康相談の充実 ・心の健康の保持と増進	B	・見やすさを観点に、危機管理マニュアルの見直しを行い、火災発生時の対応を中心に改善をはかった。次年度は避難所となった時の運営等、全日制との連携を行いたい。 ・交通安全マナーの向上を目指して、教習所に出向き講習を受けるなどの取り組みができた。 ・不調を訴える生徒に対して、体と心の両面からきめ細かい指導ができた。

4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

・先生方が自分に厳しいのかもしれないが、学校自己評価の判定が厳しすぎるように思う。
・学校自己評価のチェックポイントが多すぎるのではないか。優先順位等も必要なのではないか。
・生徒や保護者の評価も必要なのではないか。

5 総合的な学校関係者評価

・様々な課題に対して、積極的に取り組んでいこうとする努力が随所にみられる。今後とも愛情を持って取り組んでほしい。
・難しい環境の中で、学校の努力が伝わる。時間をかけて1つずつ問題点をクリアし、さらなる向上を期待する。
・常識ある大人を育成するという面から、規範意識を高める分野の教育に注視してほしい。
・明るさや充実した様子が伝わる。レベルアップしていると思う。
・よく頑張っている。

6 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
・あらゆる努力が伝わるが、情報発信にさらなる工夫が必要である。 ・様々な行事への呼びかけ等、大いに評価できる。 ・様々な工夫を行い、苦労されている様子がわかる。 ・もう少し公的機関へのPRを行えばよい。
・規律ある学校生活。交通安全指導等、徹底して努力されている。 ・生徒との信頼づくりをさらに工夫して努力してほしい。 ・定時制の生徒にはさらに工夫して、基本的生活習慣を身につけさせてほしい。 ・正門で登下校時に声掛け等の努力がされている。ぜひ継続してほしい。
・基礎学力の充実等、授業に工夫されていると思う。 ・学んだことがいつかきっと役に立つことを生徒にわかってもらう努力が必要である。 ・基礎学力の充実は大きな課題であるが、なかなか厳しい状況で努力の跡がうかがえる。 ・現状で十分である。
・目標をもった進路指導ができている。 ・生徒の将来を決定する上で、面談にはさらに力を入れてほしい。 ・農業を職業選択のひとつにしてもらうために、優秀な農家の紹介や、体験実習を取り入れることをしてはどうか。 ・厳しい社会環境の中で大変難しい課題であるが、頑張ってほしい。
・地域に対する貢献やボランティア活動に積極的に取り組んでおり、大いに評価できる。 ・もう一息頑張ってほしい。 ・校内生活体験発表会の影響力はかなり大きいので、工夫しもっと大きな行事にしてほしい。
・災害や犯罪被害から自身や身近な人を守る能力育成のため、訓練を多く取り入れてほしい。 ・教職員によるリスクの洗い出しを定期的に行ってほしい。 ・もっと努力してほしい。 ・心の健康相談を充実させてほしい。